

分野ごとの取組検討シート（A グループ）

理想の 状態	健康・医療		
	【最上位目標】・健康寿命が長い（健康で長生き）　・いるだけで健康になれるまち　・病院、介護施設が必要ないまち		
	人	地域	まち（市）
	<div>身体</div> <ul style="list-style-type: none">・自分の健康は自分で守るという責任感がある・市民が健康に関心がある（健康づくりへの課題の共有ができています）・運動習慣が身についている・介護予防ができています・高血圧が抑えられている・病気に対しての予防ができています・休養（睡眠）が取れている・子どもの健康づくりができています <div>メンタル</div> <ul style="list-style-type: none">・ストレス解消ができています・ニートや不登校になってしまうことがない・相談体制が整っている	<ul style="list-style-type: none">・市民の活発な社会参加（社会活動に参加している人が多い、まちの企画に多くの市民が参加、高齢男性が外に出ている、アッピー体操に男性が多数参加、高齢者が自由に散歩、高齢者がコミュニケーションを取れる場所がある）・地域のつながりが強い（単身高齢者の見守り体制ができています、シルバー人材センターが活性化）・健康経営	<ul style="list-style-type: none">・公衆衛生が充実している（健診受診率100%、受診後のフォロー体制が整っている）・医療を受けやすい環境が整っている（地域医療、医療がスムーズに受けられる環境、大病院とのつながりがある、地域包括ケア、受け入れ施設が充実、かかりつけ医によって健康管理ができています、病院の情報にアクセスしやすい）・何かあった時のバックアップ体制が充実



実現に 必要な 取組み	健康		
	人	地域	まち（市）
	<div>規則正しい生活</div> <ul style="list-style-type: none">・早寝早起き朝ごはん（朝食をしっかり摂る、睡眠時間の確保）・食育（大人への教育、家庭での習慣付け、口腔衛生、咀嚼・食事の取り方を教える） <div>フレイル予防</div> <ul style="list-style-type: none">・本人が気付けるきっかけや情報を与える（セルフチェックが気軽に行えるようにする、家庭でできる運動を教える）・健康づくりを促す工夫（体操にポイント付与など） <div>生活習慣病予防</div> <ul style="list-style-type: none">・世代別年代別の健康課題に対応（ライフステージ別の対策、若い頃からの生活習慣病対策） <div>心の健康</div> <ul style="list-style-type: none">・引きこもり対策（生きがいを与える）・ストレス予防を教える場所がある <div>スマートフォンのやりすぎ注意</div> <ul style="list-style-type: none">・長時間のスマホ防止のチェックリスト作成	<div>社会参加を促す</div> <ul style="list-style-type: none">・サークル活動やボランティア活動など、生きがいを見つけ、参加する・引きこもらせない・人が外に出ていきたくなる機会をつくる（イベント、無料の〇〇など魅力的なプランを企画、炊き出し・試食会、子どもと一緒にイベント、子どもをキーにして大人・高齢者同士をつなげる、ソフトボール、ゲートボール、情報）・ぶらぶら歩きができる場所をつくる（車が入ってこられない歩行者専用のエリア、興味を持って入ってみたいくなる施設）・男女共同参画（男性の家事参加、男女とも生涯現役） <div>健康経営を推進</div> <ul style="list-style-type: none">・自治体、商工会（企業）が健康保険等を通じて連携	<div>情報提供・啓発</div> <ul style="list-style-type: none">・知識を提供する体制づくり（意識を変え、実行に移す啓蒙活動、セミナーのネット配信、情報を広める工夫、学習漫画） <div>健（検）診受診率向上のための取組</div> <ul style="list-style-type: none">・受診率アップのための広報（自分の健康に危機感を持ってもらう） <div>健康づくりの担い手を育成</div> <ul style="list-style-type: none">・サポーターを育成（サポーターが活動する場所をつくる、相談・対話） <div>安心して医療を受けられる体制整備</div> <ul style="list-style-type: none">・病院マップ <div>ストレス解消を図る</div> <ul style="list-style-type: none">・相談窓口の充実（SNS の活用、学校での相談）
	人	地域	まち（市）

分野ごとの取組検討シート（B グループ）

理想の状態	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
	<ul style="list-style-type: none">・交流・活動の場づくりができている（いつでも活動できる場所がある、地域の活動に誰もが参加できる）・地域の支え合いがある（たくさんさんの市民団体ができて、市民一人ひとりが自分の得意分野や自分にもできることで無理せずに地域を支えている）・市民活動が活性化、連携している（市が民間の活動を把握し、尊重している、いま必要な取組を市民が自分で考えて行動を起こせる。また、市がそれをサポートする体制がある、市民団体間、市民団体と行政間が連携できる、団体活動・グループの横断的なつながり）	<ul style="list-style-type: none">・世代や国を超えた交流が活発（高齢者・若年層交流が活発、多世代の交流が盛ん、世代間の交流が日々ある、子どもと高齢者が交流の機会を持てている、全ての人が赤ちゃん、子どもと関わっている、学生を含めた若い世代が自治会や地域の活動に積極的に関わっている、年代を超えたつながりがある、外国人との交流がある、日本人も外国人も地域に住む人という意識が浸透している）	<ul style="list-style-type: none">・災害時の情報共有ができている（災害の際に地元の情報がタイムリーに分かる、緊急の情報を誰もがすぐに得られる）・文化・活動団体の情報共有ができている（情報弱者がいない、広報以外の媒体で皆が情報共有できる、外国人が情報を得るのに困らない）	<div>人権・平和</div> <ul style="list-style-type: none">・平和なまち（全ての人が平等な社会、差別・偏見がない、他人に寛容なまち、思いやりのあるまち、誰にでもやさしいまち）・赤ちゃんや子どもの人権が守られている（いじめのない学校、赤ちゃんや子どものことを大切にする上尾） <div>男女共同参画</div> <ul style="list-style-type: none">・男性が育児参加している（イクメンが多い）・女性が意思決定に参画している（会議の参加数は男女同じくらい、議会等の男女比率が同じ）



実現に必要な取り組み	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
	<div>市民が気軽に集まれる場を設け、お互いを知り合うことを促す</div> <ul style="list-style-type: none">・各地区に憩いの場を設け、誰でも集めるようにする（歩いて行ける場所、多目的に使える場、駅の近くに自由に使える場を設ける、巨大な施設でなくて ok、大きな総合施設ではなく、身近で使いやすい場を設けることで、コミュニティの維持につなげる、無料または安く手軽に借りることのできる施設の運営、各地域に集いの場を設ける、東西南北各地に交流センターを設ける、緩い集まり・サロンの場への支援、空き家の活用、市の財政支援）・行政が団体同士のつなぎ役を担う	<ul style="list-style-type: none">・引きこもりの人たちに就労場所を確保する・地域で学校でお互いを知る（伝統文化継承事業、異文化の受け入れ）・リーダーの育成・学校を中心とした地域の人との世代間交流事業（保育施設と高齢者施設の交流、継続的に続く、一過性でない交流事業）	<div>全体</div> <ul style="list-style-type: none">・情報の信頼性の向上・共通言語を優しい日本語にする・行政サービスを外国人にも行き渡らせる（文書を分かりやすく、相談場所の明示）・新たな情報手段に関心を持つ・伝承文化センターの設立 <div>災害</div> <ul style="list-style-type: none">・単身世帯の集約化（特別な団地を造る）・各家庭に無線ラジオを設置し、防災や公共に関わる情報を流す・情報センターを設置・駅や大型スーパーに情報発信のディスプレイを設置する・各戸に情報発信のディスプレイを設置する（単身世帯）・広報以外の媒体による情報発信の強化・テレビ埼玉で上尾の番組を放映・防災無線の改善（多言語化による情報共有）・防災マップの精度向上	<div>人権・平和</div> <ul style="list-style-type: none">・啓発機会やツールの充実（市民に対する啓発の充実、講演・講座等の定例会の実施、悩んでいる人の電話相談）・（国・人への）思い込みを捨てる（偏見に気付くこと、あいまいな言葉について考える、相手のことを知る、転入外国人の子どもの学校へのスピーディーな受け入れ）・人権や平和について教育に組み込む・性的少数者への正しい理解（学校教育の充実、同性パートナーシップ）・インターネットの便利さと怖さを知る（学校でスマホ教室を充実、学校で SNS の使い方を教える） <div>男女共同参画</div> <ul style="list-style-type: none">・学校教育により性差別の根絶を含め、人権を守ることの重要性を教える（性差別の問題を教育に組み込む）・役所の課長ポスト以上に女性を増やす

分野ごとの取組検討シート（C グループ）

理想の状態	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
	<ul style="list-style-type: none">・ 行政がスリム化している（効率化している、ICT 化されている、電子申請が拡充している）・ 行政が説明責任を果たしている（透明化されている）・ 行政が多様なニーズに対応できている・ 市民と行政との協働が機能している（市民参加による行政運営ができている）・ 市の足腰が強くなっている（流入人口が増加している、女性が活躍している）・ 中核市（多様な事務権限の委譲に伴う、市民ニーズにきめ細かく対応できる行政の実現）	<ul style="list-style-type: none">・ 財政状態が良好（税収増、財政が黒字、十分な税収が見込める状態）	<ul style="list-style-type: none">・ 施設の安全性が確保されている・ 多様なニーズに応えられる（機能的、満足度が高い、障害者や高齢者などに配慮している、魅力的である、コミュニティ育成の場）



実現に必要な取り組み	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
	<p>スリム化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外部の民間人材の活用・ ICT を活用して行政運営を分析・ 予防医療（がん検診等）を将来的な扶助費の負担減につなげる・ ワンストップ化・ 民間活用（公民連携、NPO の活用）・ 事務事業の見直し（業務の効率化）・ 人員削減とは限らない <p>協働</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域でできるものは、地域で取り組む・ 公助、共助を実行できる体制づくり・ 質の高いボランティア（サービス提供者となるボランティアの育成重要、ボランティアの意識啓発）・ 司令塔を置き、官民連携を進める <p>透明化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民への説明を徹底（タウンミーティングの積極的な実施、業務過程の見える化） <p>多様なニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none">・ これまで取り組まれなかったような施策の検討 <p>市の足腰強化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 若い世代が子育てしやすい施設を造る	<p>スリム化</p> <ul style="list-style-type: none">・ PFI 等民間の財力も活用した施策・ ボランティア団体の活用で出費を抑える・ 必要な場に配分し、必要に応じて見直せるルール作りを行う・ 事務事業評価（手法の検討、外部組織による評価、客観的な評価、既得権益の撤廃、費用対効果の見極め、スクラップ＆ビルド）・ 補助金の見直し（使う側の意識も大切） <p>市の足腰強化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 活力ある企業を誘致し、法人市民税を増加させる（会社立地条件を改善し、企業を誘致する、工業特区をつくり、企業を集積する）・ 地域産業への行政からの後押し・ 人口減を抑制する施策を通じて、市民税収を安定させる・ 使用料などを見直し、収入率を上げる	<p>効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民サービスの低下を招かないような効率的な施設の設置・ 土地を有効活用し、公園を多く整備する・ 統廃合を進める・ 複合化、多機能化を進める・ 小学校を別の用途で使用するなど、既存施設の転用（施設の再利用） <p>戦略的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子育て世代の移住定住を促進するための保育所などの優先的整備

分野ごとの取組検討シート（D グループ）

理想の状態	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
	<ul style="list-style-type: none">・地域ぐるみで横断的に取り組みが進められている状態・交通事故がない状態・メンテナンス、教育が行き届いている状態・安全維持を担う人手不足が解消されている状態・車と歩行者が分離されている	<ul style="list-style-type: none">・人と人とのつながりで防災活動が行われている・台風、地震時などに的確な対応が取れる・行政、市民の防災意識が高い・危機管理体制が整備されている	<ul style="list-style-type: none">・地域全体で消防活動が担われている（地域に一体感がある）・火災発生時の対応が早い	<ul style="list-style-type: none">・警察と地域住民の交流、協働が行われている・地域の連携が図られ、地域全体で見守っている	<ul style="list-style-type: none">・食の安全が確保されている・SDGs の理念に基づいた持続可能な社会の実現に寄与している・自主的、合理的な消費行動が取れている・トラブルがない状態



実現に必要な取り組み	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
	<p>ソフト対策</p> <ul style="list-style-type: none">・市からの補助金で自転車用のヘルメット強化（児童用）・自転車の乗り方改善（免許制、子ども・高齢者に対する交通安全教室）・免許返納者に対する市内循環バスの無料化・青パトのスリム化、効率化・見守り隊の組織化（市全体、補助金を検討）・教員との連携により事故を抑止する・自治会、学校などと連携した地域の危険箇所の定期的な把握 <p>ハード対策</p> <ul style="list-style-type: none">・スクランブル交差点の増加（歩車分離整備工事）・街灯の増加、維持管理	<p>ソフト対策</p> <ul style="list-style-type: none">・ハザードマップの周知・地区防災計画の策定（学校と地域が連携して防災計画を立てる）・事前復興計画の策定・防災教育（体験学習、自治会や学校と連携）・情報共有（防災情報の共有、SNS 等活用によりリアルタイムで情報発信する職員を配置）・有事の際の民間との協力（ショッピングモールなどと協定を結び避難所として活用）・防災訓練（消火など母子対象の訓練、避難所までのまち歩き、避難所設営訓練）・備蓄倉庫数の公開・市と市民の連携（避難所開設時をにらんだ市職員と自主防災組織の連携明確化、市と防災士の連絡再確認） <p>ハード対策</p> <ul style="list-style-type: none">・防災用スピーカーの強化・防犯カメラの設置・避難道路の整備	<ul style="list-style-type: none">・消防団との連携・AED 講習の実施・地域交流の推進	<p>ソフト対策</p> <ul style="list-style-type: none">・防犯パトロールの充実・防犯メールの認知度を上げる <p>ハード対策</p> <ul style="list-style-type: none">・街路灯の設置・空き家を利用する	<ul style="list-style-type: none">・リサイクルシステムの工夫（子どもの服などのリサイクル、制服・バッグ・ジャージ等のリサイクル、リサイクル資材の商品化）・食品ロスの削減（食品ロスのシンクタンク、消費者団体と協働するお届けミニ講座）・SDGs への取組（プラスチックごみの削減、ごみの減量）・地産地消の推進（野菜などの直売所設置）・子ども食堂への支援・困った時の窓口明確化（高齢者の買い物サポート、処分事業者の紹介）・あげバルの広報活動

分野ごとの取組検討シート（E グループ）

理想の状態	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
	<ul style="list-style-type: none">・困っていることや、助けてもらいたいことを気軽に相談できる場所やワンストップの窓口がある・障害、高齢、貧困などの区別なく誰もが参加できるコミュニティがある・「福祉の対象は市民全員」という意識がある社会・他世代での交流の場がある・「その分野の人しか知らない」というバリアのない状態・隣の家の人の顔を知っている・「みんなにとって良いこと」を、1人でも多くの人が考えている社会・福祉サービスを使うことを、負い目に感じなくていい社会・公助と共助のバランスが取れている社会・“ノーマル”、“健康”にとらわれず、様々な状況にある人びとが共に暮らしていることを肯定できる社会・いろいろな自立の形が肯定される社会	<ul style="list-style-type: none">・ひとり親世帯や貧困について、地域の人たちの理解がある状態・生活保護に至る前にセーフティネットが働く状態	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が安心して暮らせる（独居老人の安否が確認できる）・家の外で役割をもって生き生きできる・外出がしやすい（公共の乗り物が充実している）・仕事がある・買い物がしやすい・近くに病院がありすぐに行ける	



実現に必要な取り組み	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
	<ul style="list-style-type: none">・ハンデのある人が普通に生活できるようにする（表に出てこない、福祉を必要としている人の支援、ひとり親や障害者の支援、誰でもアクセスできて人との関わりが持てる場をつくる）・体験を伴う福祉の講座・福祉をうまく利用してもらう（今あるサービスの認知度向上、「介護サービスを受けるのが恥ずかしい」といったイメージの解消）・相談支援体制の確立（必要な支援機関につなぐコンシェルジュを設置、「相談する力」の向上促進）・ボランティアの充実（サービスを必要としている人と提供する人をつなぐ、地域の中でお助けボランティアをつくり、枝切り・草むしり・子守等を有償または無償で行う）・引きこもりの人の支援（年齢制限をなくす、金銭的な援助を）・1歩外に出たくなるような支援を（市内循環バスの本数増加）・働き方の改革（個々人に応じた多様な働き方、就労支援、再雇用支援、一つの仕事を複数人が担う多能工の導入、企業に対する福祉・介護・子育て講座開催、賃金格差の是正、子どもが病気の際に休める制度、育児休暇の取得促進）・スポーツ少年団など社会教育団体の充実・地域で高齢者が気軽に参加できる場を設ける（地域の安否確認システムの充実）・インフラ整備（バリアフリー、車椅子、障害者用のトイレなど）	<ul style="list-style-type: none">・保育バージョンの充実・ひとり親のシェアハウス・引きこもり支援相談センター等、行政の連携・チームづくり・生活保護を受けている人の生活実態調査	<ul style="list-style-type: none">・健康寿命の延伸を図る（ラジオ体操・ウォーキングなどスポーツしやすい環境整備）・自立支援（高齢者の自立を支えるサークルの充実、講座の設置、高齢者がオレンジカフェなどの運営者として関われる支援）・西口にも東口の「ことぶき荘」のような施設を設ける	<ul style="list-style-type: none">・様々な障害に対して市民の方の理解を深める・パラスポーツの普及・サービスを利用する当事者の話を聞く・空き家の活用（住まいの保障）・子どもたちへの啓発